

トピックス

①

当院の泌尿器科手術が、医学雑誌に「特集」として掲載

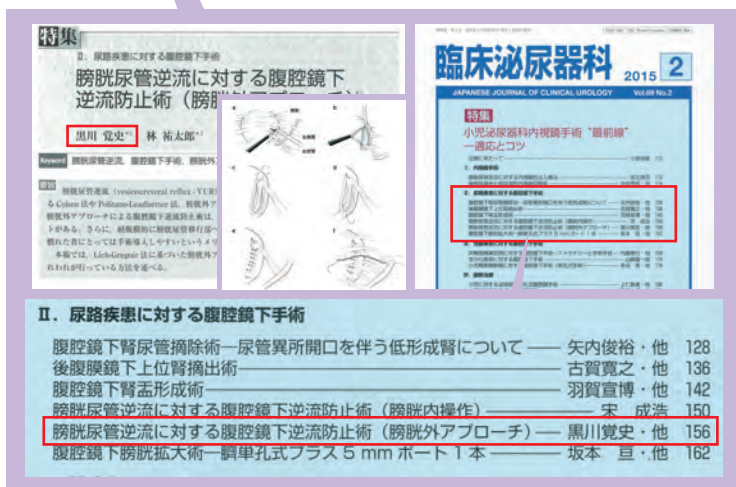
①「臨床泌尿器科 2015年2月号」に泌尿器科黒川寛史医師の手術手技が特集として掲載されました。



当院図書室



「臨床泌尿器科」は、全国の泌尿器科医が、最新の診察・手術などの情報を得るための医



学雑誌です。この特集では、全国の腹腔鏡手術エキスパートが手術のコツを披露しています。

当院では手術支援ロボット「ダヴィンチ」を用いた手術を数多く行っています。しかし、ロボット手術を最大限生かすためにはその基礎となる腹腔鏡手術を安全に行う必要があります。手術の安全性や有効性のために、私たちの行っている方法やコツが少しでも参考になれば幸いです。

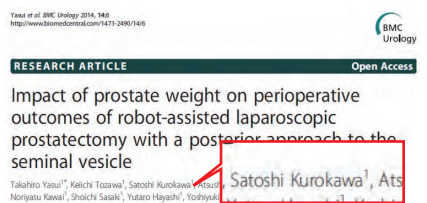
②「International Journal of Urology 2014年10月号」では、名古屋市立大学病院泌尿器科と共同で行ったロボット支援手術の論文が表紙をかざりました。



日本泌尿器科学会とアジア泌尿器科学会の両方公認の

英文誌に、日本で初めて行った手術法についての有効性を報告しました。膀胱尿管逆流(排尿するときに尿が膀胱から腎臓へ戻ってしまう病気)に対して、「ダヴィンチ」を用いた新しい手術で安全性と有効性が確認された、という内容です。この新しい手術方法はまだ保険適用になっていないため、臨床研究という形で当院や名古屋市立大学病院で実施可能です。

③「BMC Urology 2014年」(イギリスの英文誌)では、前立腺癌のロボット支援手術の中でもとくに手術難易度の高い症例のまとめが掲載されました。



手術が困難とされる「大きな前立腺癌」に対する手術成績を報告しました。手術の安全性や癌の制御といった患者さんにとって非常に大事な要素を検討しています。



私は、毎週金曜日に名古屋市立大学病院泌尿器科へ行き、新しい治療方法や様々な工夫について検討しています。周りのスタッフに理解・協力をもらいながら大学病院で勉強させていただいたことを、地域の患者さんの治療に還元していきたいと思っています。これからもよろしくお願ひ致します。

(泌尿器科医長黒川寛史)

